非核・いしかわ

2022 年 11 月 20 日　月刊第 292 号

〒920-0848 金沢市京町 28-8　石川民医連労働組合気付
非核の政府を求める石川の会
TEL 076-251-0014　FAX 076-251-3930
http://hikakuishikawa.com/

非核五項目

① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

核兵器禁止条約の署名は 91 か国、批准は 68 か国（11 月 15 日現在）

1 面　岸田改憲に抗して―台湾「有事」・敵基地攻撃能力と自衛隊―　岩淵正明
3 面　ウクライナ問題―消えないモヤモヤ感　ロニー・アレキサンダー
4 面　安倍晋三元首相の「国葬」は何が問題か
5 面　お薦めします　映画「わが青春つきるとも―伊藤千代子の生涯」　券田和子
6 面　再び暗黒政治を許さないために　尾西洋子
明け方にスマホ撫でれば夢現　大川陽一
「教会」と「協会」の表記について　中村昭一
7 面　行動と勇気で生まれ変わろう　大森和子
＜独標＞歩みつづける　山口修治
8 面　石川の山めぐり　吉沢京子
絵手紙コーナー　竹味恭子
非核・平和の掲示板

講演要旨

岸田改憲に抗して

台湾「有事」・敵基地攻撃能力と自衛隊

市民アクションいしかわ呼びかけ人
弁護士　岩淵正明

岸田改憲阻止が焦点になる説く岩淵正明さん

◆日本をとりまく最近の状況

今年二月、ロシアのウクライナ侵略が始まり、日本も軍備を増強すべきとの議論が盛り上がる。四月自民党が「敵基地攻撃能力を持つべき」「防衛費を増やすべき」と提言。八月ペロシ米下院議長の台湾訪問に抗議して中国が大規模な軍事演習を行い、台湾有事の場合、日本はどうなるかとの議論が高まる。二〇二一年一二月のシンポジウムで安倍首相（当時）は「台湾有事は日本の有事」と発言している。

今年一〇月北朝鮮のミサイルが日本上空を通過し、Jアラートが発出され、敵基地攻撃能力を持つべきとの議論がさらに盛り上がっている。

◆「台湾有事」をどう考えるか

中国が台湾と戦争状態に入った場合でも、日本が攻撃を受けていなければ存立危機事態ではなく集団的自衛権は行使できない。しかしアメリカが参戦した場合は、二〇一七年八月衆院安保委で小野寺防衛相（当時）が、「米国の抑止力や打撃力の欠如は、存立危機事態に当たり得る」と答弁しており、政府の恣意的判断で集団的自衛権が行使される可能性がある。米軍が在日米軍基地から攻撃すれば、同基地が攻撃対象となり「日本有事」となる。

台湾有事で米国が参戦すると、自衛隊は米軍の指揮下に入り、戦争に巻き込まれる。今年二月一一日、米大統領が公表した「インド太平洋戦略」では、日本は「台湾の自衛能力を支援する主体」と当然参加するものと位置づけられている。九月二日、エマニュエル米駐日大使は「日米同盟は『守りの同盟』から『打って出る同盟』の時代に入った」と発言している。

そもそも中国の台湾への軍事侵攻

花鳥風月

平和行進の全国通し行進を何回もされ、今年の能登コースも歩かれた「非核・いしかわ」の愛読者でもある横須賀市の米山幸子さんが、『百のうた千の想い…甦る平和百人一首』という冊子を石川県原水協に送ってくださった。帯には「一〇〇のうたに、八〇〇〇万人の祈り！　昭和二三年、新憲法記念事業として全国から募集した平和百人一首の入選作。（応募作品二三、七二〇首）終戦を喜び、輝く新しい国に希望ふくらます当時の日本人の生の声！」とある▼「戦いの日々にものおじしことも忘るる清き大空」「広島の焼野にたちし棟長屋（むねながや）ゆうべ点（つ）く灯（ひ）のあたたかく見ゆ」などが目に止まった。米山さんの添え書きには「七五年前の日本の人々の平和讃歌のこの本が私の宝物となり、くたびれるとこの本を読み〝元気出せ！と励まされているこのごろです〟とあった▼ウクライナ戦争は続いている。今がチャンスとばかりに、自民党や維新の会などが「敵基地攻撃能力」保有や軍事費二倍化、「核共有」、九条改憲など叫んでいる。「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないやう」（憲法前文）憲法制定の初心に帰れ！と叫ぼうではないか。（に）

はありうるのか。アメリカも中国も軍事衝突を望んでいない。軍事衝突をコントロールしようする意識もある。中国が経済成長している要因は貿易であり、他国との経済相互依存で発展している。日本の最大の貿易相手国は中国であり、米国と中国の関係は輸出入とも過去最大（二〇二一年）である。ロシアはウクライナ侵略により全世界から経済制裁を受けて貿易をシャットアウトされている。中国は米国、日本、その他の諸国との貿易が中止になると国内総生産（ＧＤＰ）が一挙に下がり、国民生活が成り立たなくなる。このため中国が必ず台湾に侵攻するとは限らない。

【ロシアのウクライナ侵略の教訓】
① 大国でも、戦争で目標を達成することはできず、衰退をもたらす

◆日本が敵基地攻撃能力を持つ意味

北朝鮮のミサイルは日本を攻撃対象にしていない。一〇月のミサイル発射はグアムを射程に入れていた。今日（一一月三日）のミサイル発射は、一〇月三〇日に始まった米韓合同軍事演習への対抗措置である。また中国が尖閣諸島のような小さな島を巡って日本に直接侵攻することは考えられない。日本が攻撃を受けるときに備えて、敵基地攻撃能力を持つべきという主張はウソだ。敵基地攻撃能力が問われるのは、アメリカを手助けする集団的自衛権行使のときである。この点が敵基地攻撃能力を持つことの本来の意味である。

台湾有事の場合、日本が攻撃を受けていないときに米軍の指揮下で集団的自衛権を行使したら、中国を先制攻撃することになり、反撃される。攻撃されるところは南西諸島である。ミサイルは軍事基地に限らず市街地にも落とされ、沖縄県民一四六万人は避難することができない。

【ロシアのウクライナ侵略の教訓】
② 戦争になると被害を被るのは市民である。

◆司令部や政治中枢も攻撃対象に

敵基地攻撃の対象は、相手国の指揮統制機能等を含むため、日本では防衛省がある六本木が攻撃を受ける。自衛隊の二三年度統幕長指定研究には「最終的には中国の産業基盤を叩く」とあり、日本も産業（軍事産業に限らず工場等）が攻撃される。さらに一〇月一三日衆院安保委で浜田防衛相が「相手国の軍事司令部や政治中枢も攻撃対象となるか」との質問に対し、「やむを得ないか否かという観点から判断される」と答弁し、否定していない。政治中枢（霞が関）も攻撃対象となる。

北朝鮮は移動式発射台を使い、列車や池の中からミサイルを発射したことがある。果たして敵基地攻撃能力は、相手国の攻撃対象を特定できるのか。日本はこれから長射程ミサイルを一〇〇〇発配備しようとしているが、中国は既に二二〇〇発を配備しており、反撃を受けたら再攻撃できる能力はない。また日本には多数の原発があるが、ウクライナの原発はロシアの攻撃を受け、大変深刻な状態になっている。原発を持っている国が戦争すると危ないのは明白だ。

敵基地攻撃能力を持つことの問題点は、安全保障のジレンマに陥ること。相手国がそれを上回る武器を持つようになり、双方が次々に攻撃能力の高い武器を持つようにと、エスカレートするからだ。日本は潜水艦から発射できる米国巡航ミサイル「トマホーク」（射程一〇〇〇km以上）の配備計画を検討している。これが憲法九条を持つ国の武器か。

◆外交なしに戦争は防げない

北朝鮮や中国からの日本への直接攻撃は想定できない。台湾有事の場合、中国と米国の軍事力（抑止力）が問題になり、日本の抑止力は問われていない。抑止力は軍事力だけではない。「有事とならないように」外交力、対話で防ぐことを考えるべきだ。抑止＝軍事力ではない。抑止＝外交力といえる。

【ロシアのウクライナ侵略の教訓】
③ 戦争になれば報復の連鎖が起こり、途中で止められない。始まる前に止めなければならない。
④ 外交なしに戦争は防げない。

◆防衛費をＮＡＴＯ基準に合わせる必要はない

ＮＡＴＯ条約は加盟国が一か国でも武力攻撃を受けたら各締約国は、（兵力の使用を含む）行動を直ちにとるという軍事同盟である。そのためＮＡＴＯ基準はＧＤＰ比二％になっている。日本は状況が違い、ＮＡＴＯ基準に合わせる必要はない。

岸田内閣は、防衛費の二三年度概算要求を過去最大の約五兆六〇〇〇億円、二四年度以降も毎年一兆円ずつ増額させ、次期中期防最終年度の二七年度には一〇・八兆円と、倍増を目指している。仮にＧＤＰ比二％となると日本の防衛費は世界九位から三位になる。

◆自民党９条改憲案

自民党改憲案には、①我が国の平和

と独立を守り、国及び国民の安全を保つために、②必要な自衛の措置をとることを妨げない、と自衛隊の任務が書かれている。自衛隊の任務に「国民の安全」が入ることは、海外の国民の安全を保つための海外派兵など、台湾にいる日本人、企業資産を守れとならないか。「必要な自衛の措置」には集団的自衛権も含まれる（二〇一二年自民党改憲Q&Aより）ため、安保法制での限定的集団的自衛から全面的集団的自衛に拡大される危険性がある。自衛のための必要最小限度の専守防衛の理念や海外派兵の制約の歯止めがなくなり、日米同盟を『守りの同盟』から『打って出る同盟』に変えようとしている。

◆憲法改悪の危機は深まった

一〇月六日、衆院の代表質問で岸田首相は「任期中に改憲を実現したい」と表明し、岸田改憲が焦点になってきた。国会が機能不全となり、翼賛体制（安倍の負の遺産）になっている。説明を尽くさず、すべて選挙で終わらせる政治が横行している。

憲法審査会が毎週開催され、自民党改憲四項目は一通り議論している。憲法審査会は全会一致が原則だったが、オンラインの国会審議を多数決で取りまとめる先例がつくられたため、今後、改憲発議が多数決で行われる危険性がある。

◆私たちは何をなすべきか

① 安全保障で軍事力を行使する考え方を徹底的に批判すること

② 台湾海峡での武力紛争の予防のための対話の必要性を強調すること

③ 実質改憲を進めさせないこと

④ 九条の危機は暮らしの危機につながることを訴えること

（非核・いしかわ編集部）

◎一一月三日、石川県女性センターで開かれた平和憲法公布七六周年記念石川県民集会・記念講演の講演要旨です。

講演要旨

ウクライナ問題～消えないモヤモヤ感

神戸大学名誉教授　ロニー・アレキサンダー

講師のロニー・アレキサンダーさん

私は愛猫ポーポキとの仮想問答をとおして〝平和〟をずっと考えてきました。「平和って何色？」と質問すると、さまざまな答えが返ってきました。感性だから正解はないのです。そもそも平和を一つの色に限定することに無理があるのです。

お互いに個性を尊重しあい、個々人が持っているものを発揮できる状態は、平和であればこそ。たとえ戦争がなくても、差別や貧困があれば、それは決して平和とは言えないのです。

世界の平和運動は、実は困難が山積しています。米国の平和運動は元々まとまりにくい事情がありますし、「平和」をもたらす解決策も、非暴力平和主義から軍事力強硬論まで様々ですし、「制裁」を支持するか否かについても、容易に意見は一致しません。

その間に、兵器産業や金融投機筋の収益はうなぎ上りとなっており、その一方で食料・燃料エネルギー・肥料など、脆弱性のある地域を中心に人類の生存を脅かす事態が進行し、それが女性、貧困層、労働者などにシワ寄せとなっています。この根底にある問題に目をつむるわけにはいきません。

軍隊があるから戦争が起きるのです。真の平和な社会を築くためには、お互いの〝つながり〟が決め手です。それさえあれば社会の不条理に一緒に立ち向かうことが出来るのです。

たしかに非暴力を貫くのは難しいです。しかし非暴力の土台をつくる努力を決して忘れてはなりません。

若者たちには、自身に抜けている視点はないかを冷静に考えてほしい。そしてモヤモヤを共有することから出発できれば、何かが始まるのだと伝えたい。違う者同士の接点づくりの技術を身に着け、未来社会の平和の土壌づくりに本気で勤しんでほしいのです。

（非核・いしかわ編集部）

◎一一月五日、近江町交流プラザで開かれた戦争をさせない石川の会主催の講演要旨です。戦争をさせない石川の会ＨＰ（nomorewarishikawa.com）にて動画配信しています。

ポーポキ・ピース・プロジェクトのリーフレットより転載

安倍晋三元首相の「国葬」は何が問題か

神田順一

安倍晋三元首相の「国葬」が岸田内閣の閣議決定だけで、事前の世論調査で六割強の反対にもかかわらず九月二七日に強行された。同日夕刻、九条の会・石川医療者の会世話人会にて「安倍晋三元首相の『国葬』は何が問題か」について話題提供する機会があった。この要点と国葬の是非について寄稿する。

戦前の国葬令は廃止、法的根拠なし

戦前は「国葬」を天皇と国家に命を捧げる皇国民精神形成に利用してきた国葬令は、戦後一九四七年の日本国憲法施行により「失効」した。国民主権の現行憲法のもと「国葬」には法的根拠がなく、安倍元首相の国葬は「法の下の平等」（憲法第一四条）に違反している。

人の死には三つある

【奥田知志さん（日本バプテスト連盟・東八幡キリスト教会牧師）の講演】

ある哲学者は人の死には三つあると云っています。一つは一人称の死、私自身の死です。二つ目は二人称の死、あなたの死です。身内とか自分が深く関わってきた人の死です。三つ目は三人称の死です。身内でない三人称の死です。安倍さんの死を〝二人称の死〟として捉える人がいてもいいわけです。その人の「内心の自由」だからです。ところが、今回の国葬が問題なのは、安倍さんの死を〝二人称の死〟として全ての国民に押し付け、「内心」に踏み込むからです。

「内心の自由」＝（思想及び良心の自由）憲法第一九条に違反すると説かれた。

官公庁や学校教育への影響は

憲法第二〇条（信教の自由、国の宗教活動の禁止）では、「何人も宗教上の行為、祝典、儀式又は行事に参加することは強制されない」と規定している。国葬当日は、石川県では本庁舎・出先の行政庁舎や全市町庁舎で半旗を掲揚し、輪島市では職員に黙祷を要請したが、石川県教育委員会は県立学校に半旗や黙祷など弔意表明を要請しなかった。

一〇月一五日、安倍元首相の県民葬が開催されたとき、山口県教育委員会は、県立学校六一校に対して、半旗の掲揚を通知し、「半旗掲揚は職務命令で、反した場合、正当な理由がない限り職務命令違反になる可能性がある」という姿勢をとった。この通知は学校教育の政治的中立性を求める教育基本法第一四条（政治教育）に明らかに抵触している。

さらに今回の国葬費用（約一二億五千万円）を閣議決定だけで決めたのは、「財政処理には国会の議決が必要」とする憲法第八三条にも違反している。

「国葬」検証委員会が問われていること

一〇月二〇日衆議院議事運営委員会内に設置された検証委員会では、安倍元首相の「国葬」決定の経緯や国葬の在り方につき、各会派から代表者が参加して議論することになった。岸田首相は一〇月五日の衆院本会議で「将来の国葬に備えたルール作り」の検討を表明。立憲民主党など野党も「首相経験者の国葬実施基準の明確化」を主張している。

しかし、検証委員会で議論すべきことは、政治家の業績の評価をめぐり国葬の在り方やルール作りではなく、国葬の是非である。奥田知志牧師が説くように「二人称の死」を国葬にするべきではない。仮にどんな業績があっても一般国民を超越した〝弔意を求める形式〟で国葬を実施することは現行憲法の国民主権に反するからである。

今後の「国葬」検証委員会の議論の進め方を注視していきたい。

（九条の会・石川医療者の会事務局）

・・・・・・・・・・

憲法第一四条（法の下の平等）

①すべて国民は、法の下に平等であって、人権、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

憲法第一九条（思想及び良心の自由）

思想及び良心の自由は、これを侵してはならない。

憲法第八三条（財政処理と国会の議決）

国の財政を処理する権限は、国会の議決に基いて、これを行使しなければならない。

◎本稿は石川県保険医協会「石川保険医新聞」第六〇六号（二〇二二年一一月一五日発行）に寄稿したものです。本紙に転載します。

●お薦めします
映画「わが青春つきるとも ―伊藤千代子の生涯」

券田和子

一九二五年に成立した治安維持法は理不尽な検挙で多くの活動家の命を奪った。その中の一人が獄病死した伊藤千代子（二四歳）だった。

一九〇五年に千代子は生まれた。時代は日露戦争の勃発から第一次世界大戦へと突き進み重税と貧富の差が広がり、庶民には大正デモクラシーの風潮が広がっていた。家庭の事情で母方の祖父のもとで勉強のできる文学少女に成長した千代子は高等女学校の校長でアララギ派の歌人〝土屋文明〟との出会い、苦学して東京女子大英語専攻科二年に編入を果たす。彼女は大学で参加したサークル社研（社会科学研究）で友人、師、恋人の浅野晃と社会の矛盾、ジェンダー平等、未来を熱く語り合った。熱心に学んで理想が確信となった千代子は既に活動家であった浅野晃と結婚し一九二三年の関東大震災の一年前に創設された日本共産党の活動に入る。

関東大震災後の治安維持法による弾圧はすさまじかった。一九二八年三月一五日の未明（三・一五事件）、千代子は共産党印刷所で検挙され、拷問の末信念に従い理想を曲げず獄病死する。夫・浅野晃が転向に追い込まれるほどの非人間的な獄中での闘いの結果だった。

獄中での壁を挟んでの仲間との励まし合い歌う「赤旗の歌」はそういう中でもこの先に訪れる平和憲法の下での新しい日本を予感させ感動の涙をさそう。

誰しもその生涯で光り輝く時があり、それは数年か、数ケ月か、或いは一瞬かは人それぞれだがその時は必ずあるという。伊藤千代子は自分が得た真実と信念に誠実に向き合い、自らを偽らず真に光り輝く時を持った。その光は確実に輝きを放ち現在につながっている。

愛おしいまでに二四年をかけ抜けた伊藤千代子。私は映画を見てふと思った。もし彼女が戦後を迎えていたなら獄中を生き抜いた友人たちとどんな光を放っていただろうかと。この映画で一人でも多くの方に千代子に出会ってほしい。そして人生を力強く共に駆け抜けたいものだ。

（映画千代子の会運営委員）

県内上映会の感想

映画「伊藤千代子の生涯」の上映運動は、九月一〇日、七尾上映会から開始し、一〇月二九日、輪島上映会まで、県下一二会場一七回の上映が終了しました。

五月二八日の試写会を含め、九五四名の方々にこの映画をご鑑賞いただき、多くの方々から大きな反響が感想として寄せられています。また、NHK金沢局（七尾支局）から取材があり、一〇月四日、五日のニュース番組で放映されました。

・・・・・・・・・

◇激しい拷問に耐え信念を貫いた伊藤千代子ほかのたたかいが感動です。こうした戦いが今につながっていると思います。

◇久しぶりに感動する映画を観た気がします。伊藤千代子のような諸姉がいたからこそ今の平和があると思う。

◇平和は自分たちで勝ち取っていくものだということを理解できました。映画を観てよかったです。ありがとうございました。

◇時代背景によって人生の生き方が左右されるのは理不尽である。悪い法律は作らせてはいけない。

◇私たちが知っている弾圧は男性が多いのですが、女性も同じような弾圧を受けツライ日があったということを初めて知りました。

◇戦前の苦しい時代を闘ってきた歴史を再度学びたいと思います。もう一度見たいと思います。

◇現代の日本社会でいろいろな活動ができるのも伊藤千代子たちの命がけの闘いのおかげだと思います。だとするならば子供たちや孫たちが生きる未来社会に少しでも役立つ活動をすることが必要かなと思います。

県内最終上映会　ご案内

◆日時　一一月二三日（水・休日）
　一〇時、一四時

◆会場　石川県立美術館ホール
　（金沢市出羽町二―一）

（関連記事　六面）

非核石川の会リレーエッセー

再び戦争と暗黒政治を許さないために

尾西洋子

九月三日、ワタナベ・コウさんの講演会「伊藤千代子が問いかけるもの」を開催しました。その後、パートナーのツルシ・カズヒコさんとご一緒に谷口善太郎文学碑（能美市）と鶴彬句碑（かほく市、金沢市）を訪ねました。ワタナベ・コウさんの講演要旨は本紙前号に掲載しました。写真は谷口善太郎文学碑前で撮影したものです。

右から2人目がワタネベ・コウさん、左端がツルシ・カズヒコさん

映画『伊藤千代子の生涯』の県内上映会では、これまで一二会場で九五四名の鑑賞がありました。「観てよかった」「みんなに観てほしい」など一五六名の方々から感想文が寄せられています。県内上映会は一一月二三日が最終回です。是非ご鑑賞ください。

（映画・伊藤千代子製作と上映を支援する会石川の会）

【編集部注】

文学碑に刻まれている言葉「道を守って己（おのれ）を封（あつく）せず」は、〝周囲に屈せず自分の真実の声を出す〟という意味であると、能美市郷土史の会の安土次雄さんは述べています。

明け方にスマホ撫でれば夢現（ゆめうつつ）

大川陽一

この現実は、夢ではないのか。この世界は、もはやその境目が無くなっている。超大国ロシアの侵略は、日々スポーツの試合結果のように報じられ、米露代理戦争の盾となったウクライナの民衆の声も熱狂の陰に隠される。理由もなく殺される市民と兵士たち。それぞれの、夢、家族、未来は、いともたやすくひねり潰され、西側諸国の武器支援という愚行で、核を含む際限のない科学技術見本市の会場となる。

二一世紀に戦争なんて、という嘆きが聴こえる。しかし、米国によるイラク侵略は、百万市民の犠牲と劣化ウランによる核汚染を導いた。世界から忘れ去られたアフガンは歴史の谷間で寒風に晒され、今も女性たちの自由が奪われている。

過去の侵略・植民地支配への遅過ぎた反省の機運が、欧州を中心に顕著になってきているが、未だ議題にする気すらないのが、日米両国である。朝鮮半島を足掛かりに明国を手に入れようと、中世での世界最大規模の侵略戦争を強行した秀吉の朝鮮出兵は、虚妄の果ての蛮行であり、明治維新以降の大陸侵略、一五年戦争へとつながる軍国主義の種を撒いてきたと言える。

百年後、千年後、この星に戦争だけは存在するだろう。無人となった地球で、人間の差別欲・支配欲を受け継いだAIたちが、見果てぬ争いを続けている景色が見える。世界中の人々よ。地球人としての愛国心を持て。人として、いのちをまもる心を持て。そうすれば、戦争なんて無くなるはずだ。

この夏、石川県庁で開催した「七三一部隊」パネル展に制作協力させていただき、中学生の頃に出会い、心に淀んでいた遠藤周作の『海と毒薬』が、七三一部隊を生んだ戦争の狂気、日本軍国主義の愚かさと線でつながった。命をまもるべき医師たちが、なぜ人体実験に及んだのか。戦争の狂気の蜜に嵌（はま）った医師だからこそ、それが可能になったのだと思う。いのちと理性の対極にあるもの、それが戦争である。明日の朝は、スマホを撫でて、優しいニュースに出会いたい。

「教会」と「協会」の表記について

中村昭一

メディアは本当に正しく伝えているのか、疑問をよく感じる。表記の件についてこの際、私見を述べたい。

①この団体は、もともと『世界基督教統一神霊協会』であり、そのまま略せば「統一協会」です。日本語は語尾が大事ですから「協会」とすべきです。自らも略称を「統一協会」とし、六〇年代後半のメディアも、当時の国会議事録もそうなっていました。

②しかし、霊感商法や集団結婚など反社会的な活動に批判が強まるなか、彼らは敢えて自らを普通のキリスト教会系の宗教のように「統一教会」と紛らわしく称するようになり、メディ

アにも「統一教会」と表記するよう執拗に求めるようになりました。そのため次第に、新聞社などが発行するハンドブックなどでは「統一教会」と記載するようになり、多くのメディアもそれに追随していきました。

③日本政府は二〇一五年に、『世界基督教統一神霊協会』を『世界平和統一家庭連合』に名称変更することを認めました。実体がカルト集団であることに変わりがないのに、名称変更を許すこと自体が不当です。これには何らかの政治的介入が疑われるのも当然です。

④この団体は、教義や反社会的活動を見ればキリスト教会とは似ても似つかず、異端にさえ入らないものです。それでも「旧統一教会」と表記されると、キリスト教と関係がある団体であるかのように思わせられ、そのため誤解されたり、攻撃されたりして苦しんでいるクリスチャンも少なくないのです。つまり、「旧統一教会」と表記することは、偽装に加担し、静かに信仰を守りたいと願うクリスチャンの心を傷つけ、生活を脅かす危険さえ生じさせている、と言わざるを得ません。

⑤よって、彼らを宗教法人として認め続け、改名まで容認した日本政府の責任とともに、安易に「教会」という表記を用いてきた姿勢も問われている、と考えるものです。

行動と勇気で生まれかわろう

大森和子

一〇月二五日の北陸中日新聞に忍岡妙子さんの記事が掲載されていました。彼女は、二〇一六年から核兵器廃絶の署名活動を自らが「私の教室」とよぶ原爆ドーム前でつづけていらっしゃる方。「核廃絶は願うだけでなく、行動を伴わないと世の中は変わらない」という信念で、修学旅行生にボランティアでガイドもされている。

私はこの記事を読んで表題にメロディが浮かびました。これは、故なかにし礼さん作の「リメンバー」のラストの言葉です。この曲はリメンバー・リメンバーを繰り返しながら、この言葉を高らかにうたいあげます。

私は一二月三日の全国うたごえ祭典で金沢紫金草合唱団の一員としてこの歌をうたってきます。この歌がヒロシマ、ナガサキ、ビキニ、世界のヒバクシャから地球上の市民一人ひとりに呼びかける言葉であることをかみしめて。

団のピアノ伴奏者である坂本麻美さんが「うたで自分の想いが伝えられるのは平和だから」といわれます。再び、歌という芸術文化が戦争への道標とならないために、ささやかな一灯をかかげつづけたい。

知ること→想像すること→心に刻み忘れないこと→語ること→創造すること、これを私は「平和の五段活用」と名付けました。

ともすれば忘れがちになる日々です。合唱朗読構成「紫金草物語」のラストの一節は以下の通りです。

「人間が人間として生きるには忘れられないことがある。忘れてならないことがあるのです」

詩人会議かなざわ「独標」より

歩みつづける

山口修治

今日は　二千二十二年七月十五日

今から百年前
おいらが生まれる二十九年前
国民は臣民だった時代
国の主権者は国民だ
十八歳から男女に選挙権をあたえろ
八時間労働制にしろ
侵略戦争は絶対に反対だ
と　叫び主張し
そんな人たちが集った日

今日　百年を祝っての集い
おいらも参加し
自由と平和　まっすぐつらぬく
思いを確かめ合い
職場へ　地域へ　街頭へ
仲間と一緒に歩み出した

編集室より

・交響曲「壊憲の歌」大合唱
・この三年何がバレても左団扇
・攻めて来る流言飛語でほくそ笑む
・自衛隊合憲ならばなぜ改定
・ウソ改竄忖度堕落なら多数
・安倍国葬弔問外交閑古鳥
・ヒロシマでやってますよと空文句
・オカルト様と共通政策相互扶助
・どこにある新資本主義はクラウドに
・マイナンバーセットでお得デジタル庁
・呼び出しはマルタと同じナンバーで
・晩秋のインフラ攻撃オレじゃない
・「一票値」四分五裂の司法権
・行きも地獄帰りも地獄のロシア兵
・打つ手なし円安不況物価高
・値崩れは大臣の椅子と日本円
・それでも希望は語り行動のなかにある

今回は拙作川柳にて。（中）

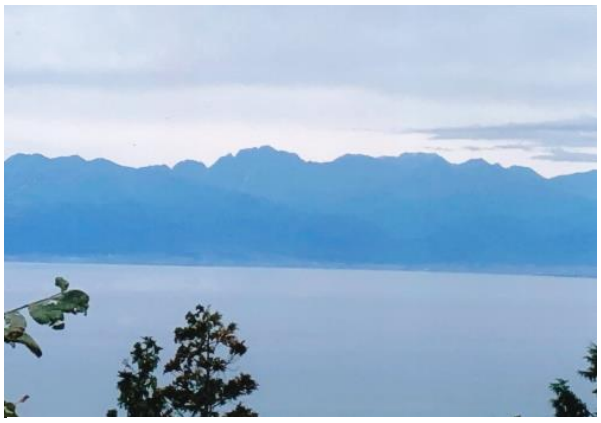
石川の山めぐり ㉓

石動山

５６４ｍ　中能登町

吉沢 京子

石動山は中世の頃、大宮坊を中心として三六〇余りの院坊と約三〇〇〇人からの衆徒がいたと伝えられています。



パノラマ展望台からの剣岳や立山連峰

大御前（石動山）頂上

石動山資料館の前の鳥居をくぐり、伊須流岐比古神社を進み行者堂、剣の宮跡、火の宮跡を通り、ブナ林を行くと大御前に着きます。

社があり、こゝが石動山の頂上です。展望、三角点もありません。ここまで四五分位です。

こゝからパノラマ展望台へ向かいます。梅の宮跡を通り広ゝとした石動山城址に着きます。庚申塚をみて進むと林道亀石線に出ます。しばらく進み、展望台への道を登ります。

展望台では富山湾、七尾湾、剣岳、立山連峰、アルプスの名だたる峰々の眺望は圧巻です。

庚申塚に戻り御廟山（ごびょうやま）を経て、復元された大宮坊に至り、石動山資料館に戻ります。五分ほど歩くと唯一残った宿坊・旧勧坊があります。沢山の史跡が点在し、森林浴が楽しめます。

お花は、絶滅危惧種の石動山ユリ、スミレ、ショウジョウバカマ、キクザキイチゲ、椿、猫の目草、ヤマブキショウマ、ササユリ等々、他にもコケイラン、サイハイランなどのランの仲間がみられます。

絶滅危惧種の石動山ユリ

石動山城址を行く

絵手紙コーナー

金沢医療生活協同組合
絵手紙班　竹味 恭子

非核・平和の掲示板

月	日	曜	時	行　事　予　定	会　場
11	23	水・休	10:00	映画「伊藤千代子の生涯」上映会（2回目　14:00～）	石川県立美術館 ホール
	23	水・休	13:30	日本高齢者大会in京都（～24日）	京都市内の会場＋オンライン
	26	土	10:00	日本平和大会in東京（～27日）	東京都多摩市内＋オンライン
12	8	木	18:30	12・8 平和を守るつどい／須藤春夫さん	金沢市青草町・近江町いちば館
	18	日	10:00	石川県保険医協会社会保障セミナー・シンポジウム2022／特別講演　井上英夫さん	オンライン開催
1	22	日	12:30	核兵器禁止条約発効2周年記念キャンペーン	金沢市武蔵町・金沢エムザ前
	28	土	14:00	北陸原水協学校in富山／笠井 晃さん	オンライン開催

＊会報「非核・いしかわ」サポート会員を募集中　年会費 2,000円